

プロジェクト名：ジョルダン国カラク地域農業開発計画実施調査

(調査期間：1989年10月～4.8カ月、担当業務：乾燥地農業)

調査背景

ジョルダン国政府は、食糧安全保障の強化および地域経済の不均衡是正を目的として、農業開発に高い優先順位を与えている。調査対象地域の住民は収入の大部分を天水条件下での小麦や大麦などの栽培に頼っている。しかし、生産性は低く、栽培面積及び生産量は年降水量の多少によって激しく変動する。乏しい降水量であっても、十分に集水され適正に灌漑されれば作物栽培は可能となる。この方法が集水栽培と呼ばれるものであり、乾燥気候への有効性については、多くの国で実証されている。ジョルダン国の進歩的な農家の中には、商業ベースでこの技術を導入し、十分な収穫をあげている者もいる。そこで、こうした集水栽培技術の導入による対象地域における農業開発計画を策定するためのF/S調査を実施した。

調査概要

調査地域の特性を代表する三つの優先地域を選定し、自然条件、社会条件、土地利用、作物栽培、家畜生産、農業支援、農家経済等に関する現況調査及び関連資料の収集解析を行った。さらに、農家が抱えている問題点や営農の実態に関する農家調査を実施した。また、集水栽培技術に関しては、農業試験場や大学が実施している試験研究の視察と同時に、既存の集水栽培プロジェクトの実態調査を実施した。このような調査を通して得られた結果を基に、土地利用計画、作物生産計画、畜産開発計画、植林開発計画等を含む農業開発計画を策定した。

担当事項

- 優先地域における作物栽培、農業支援等に関する情報収集及び解析。
- 農家が抱えている問題点や営農の実態に関する農家調査の実施及び調査結果の解析。
- 集水栽培技術に関する試験研究及び既存プロジェクトの実態調査。
- 作物生産計画及び植林開発計画の策定。

